

平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月18日
上場取引所 大

上場会社名 株式会社 秋川牧園

コード番号 1380 URL <http://www.akikawabokuen.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 秋川 正

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部次長

(氏名) 原田 良人

TEL 083-929-0630

定時株主総会開催予定日 平成24年6月26日

配当支払開始予定日

平成24年6月27日

有価証券報告書提出予定日 平成24年6月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期の連結業績(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|--------|-------|------|------|-------|------|-------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期 | 4,418 | 3.3 | 38 | △23.0 | 60 | 46.5 | 27 | 78.6 |
| 23年3月期 | 4,276 | △0.9 | 50 | △23.2 | 40 | △24.7 | 15 | △42.8 |

(注) 包括利益 24年3月期 27百万円 (161.4%) 23年3月期 10百万円 (△64.8%)

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり 当期純利益 | 自己資本当期純利益 率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 |
|--------|------------|-----------------------|----------------|----------|----------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 24年3月期 | 6.50 | — | 2.1 | 1.5 | 0.9 |
| 23年3月期 | 3.64 | — | 1.2 | 1.1 | 1.2 |

(参考) 持分法投資損益 24年3月期 一百万円 23年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 24年3月期 | 3,862 | 1,307 | 33.8 | 313.22 |
| 23年3月期 | 4,047 | 1,292 | 31.9 | 309.65 |

(参考) 自己資本 24年3月期 1,307百万円 23年3月期 1,292百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|--------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 24年3月期 | 335 | △186 | △249 | 753 |
| 23年3月期 | 277 | △227 | 150 | 853 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当 率(連結) |
|------------|--------|--------|--------|------|------|---------------|--------------|----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 23年3月期 | — | 0.00 | — | 3.00 | 3.00 | 12 | 82.4 | 1.0 |
| 24年3月期 | — | 0.00 | — | 3.00 | 3.00 | 12 | 46.2 | 1.0 |
| 25年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 3.00 | 3.00 | — | — | — |

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期 純利益 |
|-----------|-------|-----|------|------|------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 2,164 | 4.4 | △4 | — | 0 | — | △12 | — | △3.07 |
| 通期 | 4,580 | 3.7 | 76 | 96.7 | 75 | 25.0 | 42 | 54.8 | 10.06 |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

| | | | |
|--------|-------------|--------|-------------|
| 24年3月期 | 4,179,000 株 | 23年3月期 | 4,179,000 株 |
| 24年3月期 | 5,638 株 | 23年3月期 | 5,638 株 |
| 24年3月期 | 4,173,362 株 | 23年3月期 | 4,173,529 株 |

(参考)個別業績の概要

1. 平成24年3月期の個別業績(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|--------|-------|------|------|-------|------|-------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期 | 4,364 | 4.0 | 45 | 48.3 | 30 | 38.4 | 20 | 61.6 |
| 23年3月期 | 4,197 | △1.0 | 30 | △29.3 | 21 | △36.5 | 12 | △49.4 |

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 |
|--------|------------|-------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期 | 4.79 | — |
| 23年3月期 | 2.96 | — |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|--------|-------|---|-------|---|--------|--------|----------|--|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | % | 円 銭 | | |
| 24年3月期 | 3,878 | | 1,302 | | 33.6 | 312.14 | | |
| 23年3月期 | 4,044 | | 1,294 | | 32.0 | 310.29 | | |

(参考) 自己資本 24年3月期 1,302百万円 23年3月期 1,294百万円

2. 平成25年3月期の個別業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 | |
|-----------|-------|-----|------|-----|-------|-----|------------|--|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | |
| 第2四半期(累計) | 2,139 | 4.8 | △11 | — | △15 | — | △3.47 | |
| 通期 | 4,530 | 3.8 | 32 | 6.1 | 20 | 2.3 | 4.90 | |

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、将来の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、2ページ「1. 経営成績(1) 経営成績に関する分析(次期の見通し)」をご参照ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 経営成績 | 2 |
| (1) 経営成績に関する分析 | 2 |
| (2) 財政状態に関する分析 | 3 |
| (3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | 3 |
| (4) 事業等のリスク | 3 |
| 2. 企業集団の状況 | 5 |
| 3. 経営方針 | 6 |
| (1) 会社の経営の基本方針 | 6 |
| (2) 目標とする経営指標 | 6 |
| (3) 中長期的な会社の経営戦略及び会社の対処すべき課題 | 6 |
| 4. 連結財務諸表 | 8 |
| (1) 連結貸借対照表 | 8 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 10 |
| 連結損益計算書 | 10 |
| 連結包括利益計算書 | 11 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 12 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 14 |
| (5) 継続企業の前提に関する注記 | 16 |
| (6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項 | 16 |
| (7) 表示方法の変更 | 17 |
| (8) 追加情報 | 18 |
| (9) 連結財務諸表に関する注記事項 | 18 |
| (セグメント情報等) | 18 |
| (1株当たり情報) | 22 |
| (重要な後発事象) | 23 |
| (開示の省略) | 23 |
| 5. 個別財務諸表 | 24 |
| (1) 貸借対照表 | 24 |
| (2) 損益計算書 | 27 |
| (3) 株主資本等変動計算書 | 29 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 31 |
| 6. その他 | 31 |
| (1) 役員の変動 | 31 |
| (2) その他 | 31 |

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

(当期の経営成績)

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による景気の落ち込みから緩やかな回復基調で推移してきたものの、欧州の債務危機による世界の景気減速懸念の高まりや円高の長期化の影響等により、国内景気は引き続き厳しい状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、食品の放射能汚染に対する不安が続いていることもあり、消費者の食の安心・安全に対する関心は継続して高い状況にあります。

このような状況の中、当社の主たる販売先である産直型の生活協同組合及び宅配会社に対する主力の鶏肉の販売は、前年同期と比べて堅調に推移いたしました。利益面につきましては、飼料を中心とする原材料価格の高騰の影響があったものの、若鶏生産を担う子会社の(有)菊川農場において飼育成績が向上したことや、鶏卵相場の低迷時に備えた安定基金からの補填金収入が増加したこと等により増益となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、44億18百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は38百万円（前年同期比23.0%減）、経常利益は60百万円（前年同期比46.5%増）、当期純利益は27百万円（前年同期比78.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(産直畜産事業)

主に産直型の生活協同組合及び宅配会社へ販売する鶏肉、冷凍加工食品、鶏卵等で構成される産直畜産事業につきましては、主力の鶏肉を中心に販売が前年同期を上回り、売上高は増加いたしました。利益面につきましては、若鶏生産を担う(有)菊川農場において飼育成績が向上したものの、飼料を中心とする原材料価格の高騰により減益となりました。（なお、飼料価格の高騰や鶏卵相場の低迷時に備えた安定基金からの補填金収入は営業外収益で計上するため、営業利益段階では増益要因にはなりません。）

この結果、産直畜産事業の売上高は、36億67百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は3億30百万円（前年同期比8.4%減）となりました。

(総合宅配事業)

当社の食品を中心に会員宅に毎週商品をお届けする会員制宅配事業「スマイル生活」につきましては、会員数が伸長したことにより、売上高は増加いたしました。利益面につきましては、遠方の会員向けの発送運賃の増加等により販売費及び一般管理費が増加したため、微減となりました。

この結果、総合宅配事業の売上高は、6億41百万円（前年同期比5.5%増）、営業損失は14百万円（前年同期は13百万円の損失）となりました。

(牛乳製造卸売事業)

牛乳や乳製品を生産、販売している牛乳製造卸売事業につきましては、採算性に問題のあった量販店等への卸販売の縮小を行ったことにより、売上高は減少いたしました。利益面につきましては、不採算の販売の縮小の効果と、製造を担う(有)あきかわ牛乳のコスト削減による生産性向上が増益要因となりました。

この結果、牛乳製造卸売事業の売上高は、52百万円（前年同期比27.8%減）、営業損失は15百万円（前年同期は28百万円の損失）となりました。

(次期の見通し)

日本の景気は緩やかな回復基調が継続するものの、世界経済の低迷傾向の高まりや円高の長期化による影響等により、全体としての力強さはなく、厳しい状況が続くものと予想されます。その中で、放射能問題もあり消費者の食の安心・安全に対するニーズは高いものの、一方での低価格志向も根強いトレンドとしてあり、さらに二極分化の傾向が進んでいくものと考えられます。

そのような状況の中、当社の主力である鶏肉は精肉の中では最も割安である経済性と、カロリーが低めでヘルシーであることが支持され、日本全体でも需要が伸びています。当社としましてもその優位性を生かし、商品開発や生活提案に注力することで引き続き販売を伸ばしていきたいと考えております。

以上の状況を勘案し、次期の業績の見通しとしましては、売上高45億80百万円（当連結会計年度比3.7%増）、営業利益76百万円（当連結会計年度比96.7%増）、経常利益75百万円（当連結会計年度比25.0%増）、当期純利益42百万円（当連結会計年度比54.8%増）を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債、純資産の状況

当連結会計年度末の総資産は、前年同期に比べ1億84百万円減少して38億62百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少（1億円）、たな卸資産の減少（46百万円）、未収入金の減少（32百万円）によるものです。

負債につきましては、前年同期に比べ1億98百万円減少して25億55百万円となりました。これは主に1年内返済予定長期借入金を含む短期借入金の減少（2億83百万円）、支払手形及び買掛金の減少（56百万円）によるものです。

純資産につきましては、前年同期に比べ14百万円増加して13億7百万円となりました。これは主に当期純利益（27百万円）によるものです。

②連結キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前当期純利益が54百万円（前連結会計年度は30百万円の純利益）となり、長期借入れによる収入（3億円）、減価償却費（2億50百万円）、たな卸資産の減少による資金の増加（46百万円）等ありましたが、短期借入金の純減額（3億20百万円）、有形固定資産の取得による支出（2億12百万円）、長期借入金の返済による支出（2億1百万円）等により前連結会計年度末に比べ、1億円減少し、7億53百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は3億35百万円（前連結会計年度は2億77百万円の獲得）となりました。

これは主として、税金等調整前当期純利益（54百万円）、減価償却費（2億50百万円）、たな卸資産の減少（46百万円）等から、売上債権の増加（57百万円）、仕入債務の減少（56百万円）等を控除した結果によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1億86百万円（前連結会計年度は2億27百万円の使用）となりました。

これは主として、有形固定資産の取得による支出（2億12百万円）、貸付けによる支出（6百万円）等から、貸付金の回収による収入（15百万円）等を控除した結果によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は2億49百万円（前連結会計年度は1億50百万円の獲得）となりました。

これは主として、長期借入れによる収入（3億円）等から、短期借入金の純減額（3億20百万円）、長期借入金の返済による支出（2億1百万円）等を控除した結果によるものであります。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主の皆様への利益還元を重視し、かつ、秋川牧園ブランドの確立と中長期的な成長に向けての積極的な投資と堅実な財務体質を両立することを基本方針としております。

当期（平成24年3月期）につきましては、上記の方針を踏まえ、1株3円の配当とさせていただきます。また、次期（平成25年3月期）につきましても、上記の方針を踏まえ、1株3円の配当とさせていただきます。

(4) 事業等のリスク

当社の経営成績、株価及び財務状況に影響を及ぼす可能性のある主な事項を下記に記載いたしました。

① 飼料原料価格の変動

飼料原料価格は、作況や船運賃、為替変動や世界的な需要動向、さらには投機的な資金の動きにより大きく変動します。この変動に対し、国からの抛入金と飼料業界・生産者の積み立てにより運営される飼料安定基金制度があり、価格の高騰時には、この基金からの補填により生産段階の負担増が大きく軽減される仕組みとなっています。しかしながら、飼料価格の高騰が長期化する場合には、飼料コストの上昇は避けられず、製品価格への転嫁が必要となります。

② 鶏病の発症及び防疫対策として実施される、行政による生産物の移動制限措置

この数年間、高病原性鳥インフルエンザが世界各地で継続的に発生しており、世界的な問題となっております。当社グループでは、鳥インフルエンザ対策には万全を期しておりますが、当社グループの農場で発症した場合には、生産及び販売の減少等の影響を受ける可能性があります。また、当社グループの農場での発症はなくても、近隣の別の農場で発症した場合には、行政による生産物の移動制限措置、さらには風評被害により、生産及び売上の減少等の影響を受ける可能性があります。しかしながら、この行政による移動制限の範囲や期間は、経済的影響を配慮して小規模なものになってきていますし、風評被害につきましても、消費者の冷静な行動が定着しつつありますので、総合的にはリスクは縮小傾向にあるものと考えております。

③ 特定取引先に対する売上構成比の高さについて

当社グループの生活協同組合に対する売上構成比は高い状況にあります。これは、食の安心・安全の面で当社グループの方針と生活協同組合の安全な食品を消費者に届ける目的が共通することによるものです。また、当社グループは、安全な食べ物を、高い信頼性の中で総合的に生産する能力を有しており、一方、生活協同組合は、多くの消費者を組織化し、学習会等の開催で、安全な食べ物の必要性について教育活動を行いながら、食品を供給する事業を行っており、良い形で双方の機能分担と互恵的な関係が長期的に保持されています。しかしながら、生活協同組合の中でも主取引先である生活協同組合連合会グリーンコープ連合及び生活クラブ生協連合会の売上構成比は高く、その業績の影響を受ける可能性があります。

2. 企業集団の状況

当社グループ（当社及び当社の子会社）は、当社（㈱秋川牧園）、連結子会社5社（㈱あきかわ牛乳、㈱篠目三谷、㈱菊川農場、㈱チキン食品及び㈱むつみ牧場）、非連結子会社1社（㈱ゆめファーム）で構成されております。

また、資本関係はないものの協力関係がある法人と生産農家とともに、農薬・化学肥料・抗生物質等の薬物・化学添加物に頼らない安全な食肉、加工食品、鶏卵、牛乳、一般食品等に関連する事業活動を展開しております。

当社グループの事業内容及び関係会社の当該事業に係る位置付けは次のとおりであります。

(1) 産直畜産事業

主要な製品は、鶏肉、加工食品、鶏卵等であります。

鶏肉、加工食品は、㈱菊川農場と当社の協力農場において生産された若鶏を、㈱チキン食品において一次処理加工を行い、当社で製品化し、販売しております。

また、鶏卵は、㈱篠目三谷において生産された鶏卵を、当社において製品化し、販売しております。

販売先としては、生協、量販店、小売店等であります。

(2) 総合宅配事業

産直畜産事業、牛乳製造卸売事業等において製造された製品と、外部取引先より仕入れた商品を会員様に宅配しております。

(3) 牛乳製造卸売事業

主要な製品は牛乳であります。

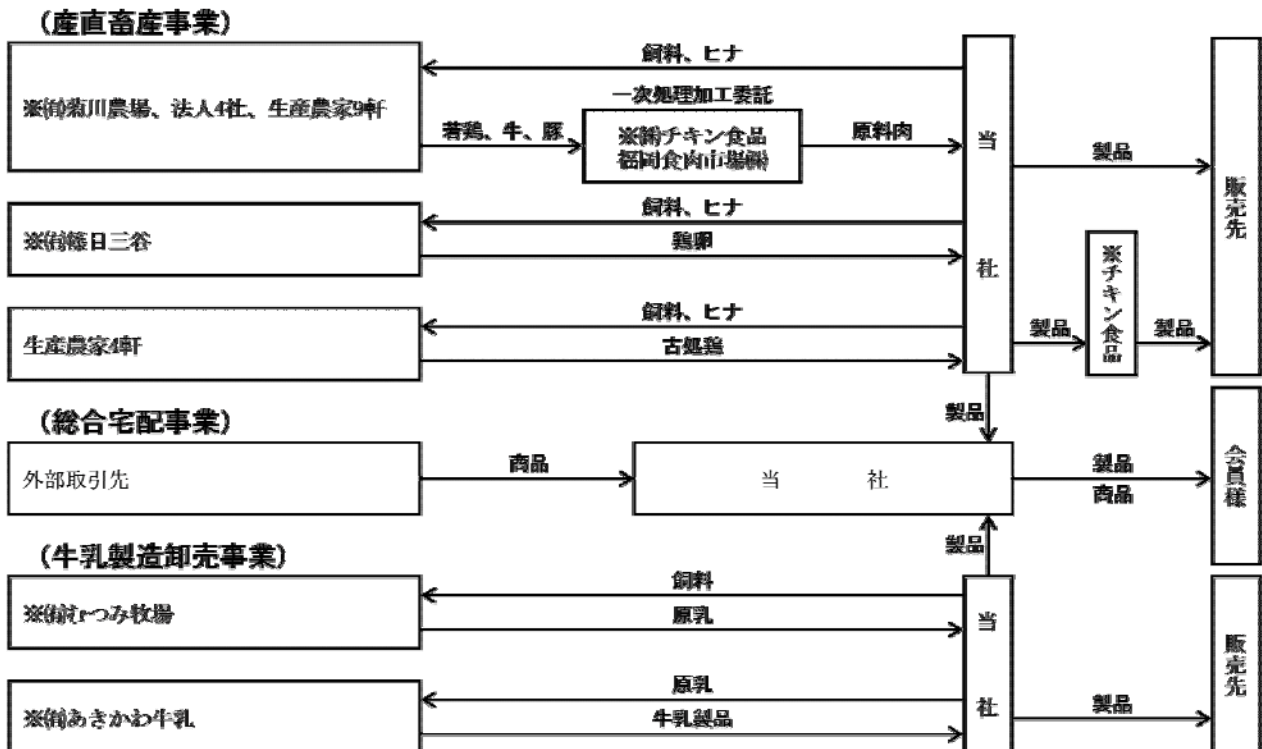
㈱むつみ牧場で生産した原乳を、㈱あきかわ牛乳において製品化し、当社が販売しております。

販売先としては、生協、小売店等であります。

(4) その他

牛乳宅配事業及び青果生産事業等を含んでおります。

以上当社グループについて図示すると次のとおりであります。



(注) ※ 連結子会社

3. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

今から39年前、当社グループが先駆的に取り組んだ食の安心・安全は、ほとんどの消費者が認める共通の価値観となりました。一方、地球温暖化など環境問題の顕在化、原発事故と今後のエネルギー政策のあり方、危機的な日本の農業と世界的な食料不足リスクの高まりなど、今ほど真の豊かさ、真の賢さとは何なのかが問われる時代はないといえます。

当社グループは、①私たちは持続可能で真に豊かな社会への変革に貢献します、②私たちは理想の農業を追求します、③私たちは一人一人の主体性を起点として、活力溢れる会社をつくり、の3つの企業理念（私たちの目指すもの）を掲げ、「地域循環型・農ある豊かな暮らしづくり」のビジョンの実現に向けて、価値創造に積極的に取り組むことを経営の基本方針としております。

(2) 目標とする経営指標

当社グループでは、売上高50億円、売上高経常利益率3%以上を達成することを、数値目標として設定しております。

(3) 中長期的な会社の経営戦略及び会社の対処すべき課題

当社グループは、消費者のよい人生に貢献できる本当によい食を提供することを事業の基盤としつつ、新しいビジョンである「地域循環型・農ある豊かな暮らしづくり」の理想に向けて、「価値創造」に積極的に取り組んでまいります。

より具体的には、2011年4月に作成しました新・中期計画の6つの基本戦略に基づき、事業展開を進めてまいります。

①生産を強くする

当社グループの食品の品質面での競争力の源泉は、活力ある生産現場にあると考えています。その競争力をさらに高めるため、飼料の自給率向上、防疫管理の強化、新技術の開発など生産の強化に取り組んでまいります。

重点課題としましては、若鶏の飼育成績の向上を目指す大腸菌プロジェクトと、飼料米に続いて乳牛用粗飼料の自給化にも取り組んでまいります。

②新分野・新技術への挑戦

食の安心・安全の重要性を誰もが認める時代となる中で、その競争の激化に備え、健康、エコなどにも視野を広げ、新分野となる商品と技術の開発に取り組んでいくことが重要であると考えております。

重点課題としましては、他社と提携して進めている植物乳酸菌の技術を活用した商品の事業化と、とりがらスープのもつ栄養や機能に着目しての商品開発に取り組んでまいります。

③産直の強化

放射能問題が大きく関心を集める中で、生活協同組合や宅配会社と当社グループが共に進めてきた「産直」は、生産から加工、流通までの流れが明確であり、仕組みとしての優位性があります。今後もその期待に十分にお応えすべく、生産、加工、開発、品質、信頼性等をさらに強化し、進化させていくことが重要であると考えております。

重点課題としましては、コスト面での改善を継続すると同時に、商品開発と学習会活動に注力し、顧客に対する生活提案力を向上させてまいります。

④会員制総合宅配事業（スマイル生活）の成長力の向上

当社グループでは、卵、牛乳、肉、野菜など様々な品目について生産から加工までを一貫して行っております。そして、その総合力と信頼性が最も活かされるのが直販のスマイル生活です。生産者の宅配、生活提案の宅配として独自性を高めつつ、価値観を共有する消費者とより多く出会うことで、事業の成長力を高めてまいります。

重点課題としましては、ホームページを刷新して情報発信力を強化し、ネット上での口コミ効果を高めることで入会者の拡大に取り組んでまいります。

⑤鶏卵・牛乳事業の収益力の向上

規模が小さいこともあり、収益性の面で課題のある鶏卵及び牛乳事業ですが、その収益力を引き続き向上させてまいります。

重点課題としましては、鶏卵事業は余剰卵と規格外卵に着目しての収支構造の改善、牛乳事業は直販及び卸販売の双方での販売拡大に取り組んでまいります。

⑥秋川牧園らしい会社づくり

当社グループが顧客からの信頼に応え、また新たな価値創造を推進する上で最も重要なことは、理念を共有した人材を育て、その社員の主体性を生かしつつ、チームとしての成果を上げていくことでもあります。そのためにも秋川牧園らしい会社づくりに向けて、様々な取り組みを実行してまいります。

重点課題としましては、2年目となる新・人事制度について、その定着と浸透を図ってまいります。

4. 連結財務諸表
 (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (平成24年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 833,499 | 733,055 |
| 受取手形及び売掛金 | 479,594 | 537,045 |
| 有価証券 | 20,433 | 20,447 |
| 商品及び製品 | 71,270 | 55,373 |
| 仕掛品 | 264,610 | 229,621 |
| 原材料及び貯蔵品 | 63,828 | 68,006 |
| 繰延税金資産 | 22,078 | 19,748 |
| 未収入金 | 154,807 | 122,211 |
| その他 | 28,392 | 25,541 |
| 貸倒引当金 | △754 | △672 |
| 流動資産合計 | 1,937,760 | 1,810,378 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 1,693,692 | 1,724,489 |
| 減価償却累計額 | △1,004,103 | △1,054,579 |
| 建物及び構築物（純額） | 689,588 | 669,909 |
| 機械装置及び運搬具 | 966,786 | 1,006,547 |
| 減価償却累計額 | △741,693 | △784,794 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 225,093 | 221,752 |
| 土地 | 791,008 | 791,763 |
| 建設仮勘定 | 19,645 | 20,932 |
| その他 | 263,877 | 277,722 |
| 減価償却累計額 | △176,725 | △186,155 |
| その他（純額） | 87,152 | 91,566 |
| 有形固定資産合計 | 1,812,488 | 1,795,924 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 95,467 | 77,957 |
| その他 | 19,596 | 17,438 |
| 無形固定資産合計 | 115,063 | 95,396 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 102,980 | 97,742 |
| 長期貸付金 | 31,909 | 22,175 |
| 繰延税金資産 | 594 | 61 |
| その他 | 46,730 | 41,792 |
| 貸倒引当金 | △476 | △475 |
| 投資その他の資産合計 | 181,738 | 161,295 |
| 固定資産合計 | 2,109,290 | 2,052,616 |
| 資産合計 | 4,047,050 | 3,862,995 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (平成24年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 369,527 | 313,129 |
| 短期借入金 | 1,300,000 | 1,167,857 |
| リース債務 | 11,872 | 13,086 |
| 未払法人税等 | 11,886 | 26,319 |
| 繰延税金負債 | 53 | — |
| 賞与引当金 | 20,014 | 19,360 |
| その他 | 350,592 | 250,759 |
| 流動負債合計 | 2,063,947 | 1,790,512 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 397,717 | 459,841 |
| リース債務 | 54,256 | 50,456 |
| 繰延税金負債 | 24,819 | 22,220 |
| 退職給付引当金 | 168,128 | 181,955 |
| 役員退職慰労引当金 | 45,872 | 50,824 |
| 固定負債合計 | 690,793 | 765,297 |
| 負債合計 | 2,754,740 | 2,555,809 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 714,150 | 714,150 |
| 資本剰余金 | 554,541 | 554,541 |
| 利益剰余金 | 26,184 | 40,798 |
| 自己株式 | △3,573 | △3,573 |
| 株主資本合計 | 1,291,303 | 1,305,916 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,006 | 1,269 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,006 | 1,269 |
| 純資産合計 | 1,292,309 | 1,307,185 |
| 負債純資産合計 | 4,047,050 | 3,862,995 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) |
|----------------|--|--|
| 売上高 | 4,276,597 | 4,418,785 |
| 売上原価 | 3,315,332 | 3,437,727 |
| 売上総利益 | 961,264 | 981,057 |
| 販売費及び一般管理費 | 910,971 | 942,311 |
| 営業利益 | 50,293 | 38,746 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,038 | 1,347 |
| 補填金収入 | 1,724 | 32,882 |
| 保険返戻金 | 3,200 | 8,883 |
| 還付消費税等 | 4,357 | — |
| その他 | 7,883 | 6,914 |
| 営業外収益合計 | 19,203 | 50,027 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 28,442 | 28,686 |
| その他 | 91 | 73 |
| 営業外費用合計 | 28,534 | 28,760 |
| 経常利益 | 40,962 | 60,013 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 1,187 | 1,234 |
| 投資有価証券売却益 | — | 4,310 |
| 貸倒引当金戻入額 | 18 | — |
| その他 | — | 62 |
| 特別利益合計 | 1,206 | 5,606 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 2,876 | 1,609 |
| 固定資産除却損 | 4,978 | 2,262 |
| 減損損失 | 3,892 | 7,134 |
| 特別損失合計 | 11,748 | 11,006 |
| 税金等調整前当期純利益 | 30,420 | 54,613 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 15,236 | 27,358 |
| 法人税等調整額 | △11 | 121 |
| 法人税等合計 | 15,225 | 27,480 |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 15,195 | 27,133 |
| 少数株主利益 | — | — |
| 当期純利益 | 15,195 | 27,133 |

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) |
|----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 15,195 | 27,133 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △4,715 | 262 |
| その他の包括利益合計 | △4,715 | 262 |
| 包括利益 | 10,479 | 27,396 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 10,479 | 27,396 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) |
|---------|--|--|
| 株主資本 | | |
| 資本金 | | |
| 当期首残高 | 714,150 | 714,150 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | — | — |
| 当期末残高 | 714,150 | 714,150 |
| 資本剰余金 | | |
| 当期首残高 | 554,541 | 554,541 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | — | — |
| 当期末残高 | 554,541 | 554,541 |
| 利益剰余金 | | |
| 当期首残高 | 23,512 | 26,184 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | △12,523 | △12,520 |
| 当期純利益 | 15,195 | 27,133 |
| 当期変動額合計 | 2,672 | 14,613 |
| 当期末残高 | 26,184 | 40,798 |
| 自己株式 | | |
| 当期首残高 | △3,163 | △3,573 |
| 当期変動額 | | |
| 自己株式の取得 | △409 | — |
| 当期変動額合計 | △409 | — |
| 当期末残高 | △3,573 | △3,573 |
| 株主資本合計 | | |
| 当期首残高 | 1,289,040 | 1,291,303 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | △12,523 | △12,520 |
| 当期純利益 | 15,195 | 27,133 |
| 自己株式の取得 | △409 | — |
| 当期変動額合計 | 2,262 | 14,613 |
| 当期末残高 | 1,291,303 | 1,305,916 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) |
|---------------------|--|--|
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他の有価証券評価差額金 | | |
| 当期首残高 | 5,722 | 1,006 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | △4,715 | 262 |
| 当期変動額合計 | △4,715 | 262 |
| 当期末残高 | 1,006 | 1,269 |
| その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 5,722 | 1,006 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | △4,715 | 262 |
| 当期変動額合計 | △4,715 | 262 |
| 当期末残高 | 1,006 | 1,269 |
| 純資産合計 | | |
| 当期首残高 | 1,294,762 | 1,292,309 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | △12,523 | △12,520 |
| 当期純利益 | 15,195 | 27,133 |
| 自己株式の取得 | △409 | — |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | △4,715 | 262 |
| 当期変動額合計 | △2,452 | 14,876 |
| 当期末残高 | 1,292,309 | 1,307,185 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 30,420 | 54,613 |
| 減価償却費 | 193,669 | 250,189 |
| 減損損失 | 3,892 | 7,134 |
| のれん償却額 | 16,025 | 17,509 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △85 | △81 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △11,160 | △654 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 13,552 | 13,826 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 2,603 | 4,952 |
| 受取利息及び受取配当金 | △3,267 | △2,319 |
| 支払利息 | 28,442 | 28,686 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | — | △4,310 |
| 固定資産売却益 | △1,187 | △1,234 |
| 固定資産売却損 | 2,876 | 1,609 |
| 固定資産除却損 | 4,978 | 2,262 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △2,249 | △57,450 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 45,673 | 46,707 |
| 未収入金の増減額 (△は増加) | 18,727 | 32,595 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △15,201 | △56,398 |
| その他 | △8,318 | 34,508 |
| 小計 | 319,394 | 372,146 |
| 利息及び配当金の受取額 | 3,348 | 2,339 |
| 利息の支払額 | △28,350 | △27,983 |
| 法人税等の支払額 | △17,270 | △11,435 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 277,121 | 335,066 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △161,818 | △212,916 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 16,681 | 7,019 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △54,110 | — |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 9,900 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入 | 3,502 | — |
| 貸付けによる支出 | △59,660 | △6,050 |
| 貸付金の回収による収入 | 34,556 | 15,847 |
| ソフトウェアの取得による支出 | △4,895 | △4,561 |
| その他 | △1,531 | 4,593 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △227,275 | △186,167 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) |
|----------------------|--|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 30,000 | △320,000 |
| 長期借入れによる収入 | 350,000 | 300,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △201,395 | △201,754 |
| 自己株式の取得による支出 | △409 | — |
| 配当金の支払額 | △12,413 | △12,409 |
| その他 | △15,196 | △15,166 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 150,584 | △249,329 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 200,430 | △100,429 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 653,502 | 853,932 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 853,932 | 753,503 |

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

| 項目 | 当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) |
|---|--|
| 1. 連結の範囲に関する事項 | (1) 連結子会社の数 5社 連結子会社の名称 (有)あきかわ牛乳 (有)篠目三谷 (有)菊川農場 (株)チキン食品 (有)むつみ牧場 (2) 非連結子会社の名称等 (株)ゆめファーム (連結の範囲から除いた理由) 非連結子会社は、小規模であり、総資産、売上高、当期純損益（持分に見合う額）及び利益剰余金（持分に見合う額）等は、いずれも連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていないためであります。 |
| 2. 持分法の適用に関する事項 | 持分法を適用していない非連結子会社 (株)ゆめファームは、当期純損益（持分に見合う額）及び利益剰余金（持分に見合う額）等からみて、持分法の対象から除いても連結財務諸表に及ぼす影響が軽微であり、かつ、全体としても重要性がないため持分法の適用範囲から除外しております。 |
| 3. 連結子会社の事業年度等に関する事項 | 連結子会社の決算日は以下のとおりであります。 (有)あきかわ牛乳：12月31日 (有)篠目三谷：12月31日 (有)菊川農場：1月31日 (株)チキン食品：1月31日 (有)むつみ牧場：2月29日 連結財務諸表の作成に当たっては、同決算日現在の財務諸表を使用しております。ただし、各社決算日から連結決算日3月31日までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。 |
| 4. 会計処理基準に関する事項 (1) 重要な資産の評価基準及び評価方法 | イ 有価証券 (イ) 満期保有目的の債券 償却原価法 (ロ) その他の有価証券 時価のあるもの 決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は主として移動平均法により算定） 時価のないもの 移動平均法による原価法 ロ たな卸資産 製品・仕掛品 主として総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定） 商品・原材料（包装材料等を除く） 主として先入先出法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定） 貯蔵品・その他原材料 最終仕入原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定） |

| 項目 | 当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) | | | | | | |
|-----------------------------|---|----|--------|-----|--------|------|-------|
| (2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法 | <p>イ 有形固定資産（リース資産を除く）</p> <p>定率法</p> <p>ただし、採卵施設、原乳生産施設及び平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）については定額法、動物（採卵用鶏）については採卵期間にわたり日割償却</p> <p>なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。</p> <table border="0"> <tr> <td>建物</td> <td>15～38年</td> </tr> <tr> <td>構築物</td> <td>10～15年</td> </tr> <tr> <td>機械装置</td> <td>7～10年</td> </tr> </table> <p>ロ 無形固定資産（リース資産を除く）</p> <p>定額法</p> <p>なお、自社利用ソフトウェアの耐用年数は5年であります。</p> <p>ハ リース資産</p> <p>所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産</p> <p>自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用しております。</p> <p>所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産</p> <p>リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。</p> <p>なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引開始日が平成20年3月31日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。</p> | 建物 | 15～38年 | 構築物 | 10～15年 | 機械装置 | 7～10年 |
| 建物 | 15～38年 | | | | | | |
| 構築物 | 10～15年 | | | | | | |
| 機械装置 | 7～10年 | | | | | | |
| (3) 重要な引当金の計上基準 | <p>イ 貸倒引当金</p> <p>債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>ロ 賞与引当金</p> <p>従業員賞与の支給に充てるため、夏季賞与支給見込額のうち、当連結会計年度に対応する額を計上しております。</p> <p>ハ 退職給付引当金</p> <p>当連結会計年度末における退職給付債務に基づき、当連結会計年度末において発生していると認められる額を計上しております。なお、会計基準変更時差異はありません。</p> <p>ニ 役員退職慰労引当金</p> <p>役員の退職慰労金の支出に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく期末要支給額を計上しております。</p> | | | | | | |
| (4) のれんの償却方法及び償却期間 | <p>のれんの償却については、(有)菊川農場は15年間、(有)むつみ牧場は10年間、(有)篠目三谷は15年間での均等償却を行っております。</p> | | | | | | |
| (5) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲 | <p>手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。</p> | | | | | | |
| (6) その他連結財務諸表作成のための重要な事項 | <p>消費税等の会計処理方法</p> <p>税抜方式によっております。</p> | | | | | | |

(7) 表示方法の変更

| 当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) |
|---|
| <p>(連結損益計算書)</p> <p>前連結会計年度において、「営業外収益」の「その他」に含めていた「補填金収入」は、営業外収益の総額の100分の10を超えたため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。</p> <p>この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた9,607千円は、「補填金収入」1,724千円、「その他」7,883千円として組み替えております。</p> |

(8)追加情報

| |
|--|
| 当連結会計年度 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日) |
| (会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当連結会計年度の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。 |

(9)連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

I 前連結会計年度(自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業グループごとに取り扱う製品・サービス別のセグメントについて、包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業グループごとに取り扱う製品・サービス別のセグメントから構成されており、「産直畜産事業」、「総合宅配事業」及び「牛乳製造卸売事業」の3つを報告セグメントとしております。

「産直畜産事業」は、主に産直型の生活協同組合や宅配会社向けに、鶏肉、豚肉、牛肉、食肉の加工品及び鶏卵の生産・販売をしております。「総合宅配事業」は、当社の食品を中心とした食品と生活雑貨を会員向けに販売しております。「牛乳製造卸売事業」は、牛乳や乳製品の生産・販売をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益(のれん償却前)ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は各セグメントにおける製造原価の状況を勘案し、双方協議に基づいて取引を行っております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) | 合計 |
|------------------------|-----------|---------|---------|-----------|------------|-----------|
| | 産直畜産 | 総合宅配 | 牛乳製造卸売 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,551,972 | 608,433 | 72,977 | 4,233,384 | 43,213 | 4,276,597 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 99,370 | 2,966 | 54,242 | 156,579 | 248,800 | 405,380 |
| 計 | 3,651,343 | 611,400 | 127,220 | 4,389,963 | 292,013 | 4,681,977 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 360,241 | △13,002 | △28,816 | 318,422 | △20,473 | 297,949 |
| セグメント資産 | 2,709,019 | 102,172 | 262,141 | 3,073,334 | 34,629 | 3,107,963 |
| その他の項目 | | | | | | |
| 減価償却費 | 156,802 | 5,330 | 14,735 | 176,868 | 5,214 | 182,083 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 500,207 | 4,651 | 14,128 | 518,987 | 5,517 | 524,504 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、牛乳宅配事業及び物流部門等を含んでおります。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位:千円)

| 売上高 | |
|--------------|-----------|
| 報告セグメント計 | 4,389,963 |
| 「その他」の区分の売上高 | 292,013 |
| セグメント間取引消去 | △405,380 |
| 連結財務諸表の売上高 | 4,276,597 |

(単位:千円)

| 利益 | |
|-------------|----------|
| 報告セグメント計 | 318,422 |
| 「その他」の区分の利益 | △20,473 |
| のれんの償却額 | △16,025 |
| 全社費用(注) | △231,630 |
| 連結財務諸表の営業利益 | 50,293 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

(単位:千円)

| 資産 | |
|-------------|-----------|
| 報告セグメント計 | 3,073,334 |
| 「その他」の区分の資産 | 34,629 |
| 全社資産(注) | 939,086 |
| 連結財務諸表の資産合計 | 4,047,050 |

(注) 全社資産は、主に当社グループにおける余資運用資金（現金及び預金他）、長期投資資金（投資有価証券他）及び管理部門に係る資産等であります。

(単位:千円)

| その他の項目 | 報告セグメント計 | その他 | 調整額 | 連結財務諸表計上額 |
|--------------------|----------|-------|--------|-----------|
| 減価償却費 | 176,868 | 5,214 | 11,586 | 193,669 |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 518,987 | 5,517 | 6,673 | 531,178 |

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各セグメントに属さない本社の建物及び構築物等の設備投資額であります。

Ⅱ 当連結会計年度（自平成23年4月1日 至平成24年3月31日）

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業グループごとに取り扱う製品・サービス別のセグメントについて、包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業グループごとに取り扱う製品・サービス別のセグメントから構成されており、「産直畜産事業」、「総合宅配事業」及び「牛乳製造卸売事業」の3つを報告セグメントとしております。

「産直畜産事業」は、主に産直型の生活協同組合や宅配会社向けに、鶏肉、豚肉、牛肉、食肉の加工品及び鶏卵の生産・販売をしております。「総合宅配事業」は、当社の食品を中心とした食品と生活雑貨を会員向けに販売しております。「牛乳製造卸売事業」は、牛乳や乳製品の生産・販売をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益（のれん償却前）ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は各セグメントにおける製造原価の状況を勘案し、双方協議に基づいて取引を行っております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) | 合計 |
|------------------------|-----------|---------|---------|-----------|------------|-----------|
| | 産直畜産 | 総合宅配 | 牛乳製造卸売 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,667,725 | 641,810 | 52,671 | 4,362,207 | 56,578 | 4,418,785 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 107,532 | 2,927 | 61,388 | 171,848 | 259,006 | 430,855 |
| 計 | 3,775,258 | 644,737 | 114,060 | 4,534,056 | 315,584 | 4,849,640 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 330,153 | △14,349 | △15,092 | 300,710 | △9,276 | 291,434 |
| セグメント資産 | 2,573,471 | 112,457 | 253,057 | 2,938,986 | 42,665 | 2,981,651 |
| その他の項目 | | | | | | |
| 減価償却費 | 212,005 | 6,326 | 14,275 | 232,608 | 6,323 | 238,931 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 336,953 | 7,560 | 14,526 | 359,041 | 11,590 | 370,632 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、牛乳宅配事業及び物流部門等を含んでおります。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位:千円)

| 売上高 | |
|--------------|-----------|
| 報告セグメント計 | 4,534,056 |
| 「その他」の区分の売上高 | 315,584 |
| セグメント間取引消去 | △430,855 |
| 連結財務諸表の売上高 | 4,418,785 |

(単位:千円)

| 利益 | |
|-------------|----------|
| 報告セグメント計 | 300,710 |
| 「その他」の区分の利益 | △9,276 |
| のれんの償却額 | △17,509 |
| 全社費用(注) | △235,178 |
| 連結財務諸表の営業利益 | 38,746 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

(単位:千円)

| 資産 | |
|-------------|-----------|
| 報告セグメント計 | 2,938,986 |
| 「その他」の区分の資産 | 42,665 |
| 全社資産(注) | 881,343 |
| 連結財務諸表の資産合計 | 3,862,995 |

(注) 全社資産は、主に当社グループにおける余資運用資金（現金及び預金他）、長期投資資金（投資有価証券他）及び管理部門に係る資産等であります。

(単位:千円)

| その他の項目 | 報告セグメント計 | その他 | 調整額 | 連結財務諸表計上額 |
|--------------------|----------|--------|--------|-----------|
| 減価償却費 | 232,608 | 6,323 | 11,258 | 250,189 |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 359,041 | 11,590 | 4,628 | 375,260 |

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各セグメントに属さない本社の建物及び構築物等の設備投資額であります。

b. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 | 合計 | 調整額 | 合計 |
|------|---------|------|------------|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 産直畜産 | 総合宅配 | 牛乳製造 卸売 | 計 | | | | |
| 減損損失 | 3,892 | — | — | 3,892 | — | 3,892 | — | 3,892 |

当連結会計年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 | 合計 | 調整額 | 合計 |
|------|---------|------|------------|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 産直畜産 | 総合宅配 | 牛乳製造 卸売 | 計 | | | | |
| 減損損失 | 7,134 | — | — | 7,134 | — | 7,134 | — | 7,134 |

c. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 | 合計 | 調整額 | 合計 |
|-------|---------|------|------------|--------|-----|--------|-----|--------|
| | 産直畜産 | 総合宅配 | 牛乳製造 卸売 | 計 | | | | |
| 当期償却額 | 11,833 | — | 4,191 | 16,025 | — | 16,025 | — | 16,025 |
| 当期末残高 | 91,276 | — | 4,191 | 95,467 | — | 95,467 | — | 95,467 |

当連結会計年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 | 合計 | 調整額 | 合計 |
|-------|---------|------|------------|--------|-----|--------|-----|--------|
| | 産直畜産 | 総合宅配 | 牛乳製造 卸売 | 計 | | | | |
| 当期償却額 | 13,318 | — | 4,191 | 17,509 | — | 17,509 | — | 17,509 |
| 当期末残高 | 77,957 | — | 0 | 77,957 | — | 77,957 | — | 77,957 |

(1株当たり情報)

| 前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | | 当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) | |
|--|---------|--|---------|
| 1株当たり純資産額 | 309円65銭 | 1株当たり純資産額 | 313円22銭 |
| 1株当たり当期純利益金額 | 3円64銭 | 1株当たり当期純利益金額 | 6円50銭 |
| なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。 | | なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。 | |

(注) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) |
|------------------|--|--|
| 1株当たり当期純利益金額 | | |
| 当期純利益(千円) | 15,195 | 27,133 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る当期純利益(千円) | 15,195 | 27,133 |
| 期中平均株式数(千株) | 4,173 | 4,173 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(開示の省略)

連結貸借対照表、連結損益計算書、連結包括利益計算書、連結株主資本等変動計算書、連結キャッシュ・フロー計算書、リース取引、金融商品、有価証券、デリバティブ取引、退職給付、ストック・オプション等、税効果会計、企業結合等、資産除去債務、賃貸等不動産及び関連当事者に関する注記事項については、決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため、開示を省略します。

5. 個別財務諸表
 (1) 貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成23年3月31日) | 当事業年度 (平成24年3月31日) |
|---------------------|-----------------------|-----------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 709,224 | 664,392 |
| 売掛金 | 476,567 | 531,877 |
| 有価証券 | 20,433 | 20,447 |
| 商品及び製品 | 71,417 | 52,411 |
| 仕掛品 | 255,648 | 227,748 |
| 原材料及び貯蔵品 | 50,354 | 49,826 |
| 前払費用 | 4,742 | 5,416 |
| 株主、役員又は従業員に対する短期貸付金 | 11,289 | 10,598 |
| 関係会社短期貸付金 | 179,656 | 47,756 |
| 未収入金 | 396,663 | 365,540 |
| 繰延税金資産 | 13,348 | 12,029 |
| その他 | 9,050 | 20,252 |
| 貸倒引当金 | △759 | △672 |
| 流動資産合計 | 2,197,638 | 2,007,624 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 1,122,302 | 1,128,355 |
| 減価償却累計額 | △628,117 | △659,090 |
| 建物（純額） | 494,184 | 469,264 |
| 構築物 | 250,803 | 254,683 |
| 減価償却累計額 | △178,272 | △187,753 |
| 構築物（純額） | 72,530 | 66,929 |
| 機械及び装置 | 516,274 | 540,771 |
| 減価償却累計額 | △428,591 | △448,886 |
| 機械及び装置（純額） | 87,682 | 91,884 |
| 車両運搬具 | 34,233 | 39,386 |
| 減価償却累計額 | △28,090 | △31,687 |
| 車両運搬具（純額） | 6,143 | 7,699 |
| 工具、器具及び備品 | 110,518 | 113,908 |
| 減価償却累計額 | △95,870 | △98,397 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 14,648 | 15,510 |
| 動物 | 2,825 | 2,903 |
| 減価償却累計額 | △1,242 | △1,515 |
| 動物（純額） | 1,583 | 1,388 |
| 土地 | 505,707 | 633,462 |
| 有形固定資産合計 | 1,182,480 | 1,286,140 |
| 無形固定資産 | | |
| 商標権 | 90 | 385 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成23年3月31日) | 当事業年度 (平成24年3月31日) |
|---------------------|-----------------------|-----------------------|
| ソフトウェア | 14,884 | 12,809 |
| その他 | 2,070 | 2,070 |
| 無形固定資産合計 | 17,046 | 15,265 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 102,930 | 97,692 |
| 関係会社株式 | 116,625 | 116,625 |
| 出資金 | 418 | 430 |
| 長期貸付金 | 4,850 | 3,225 |
| 株主、役員又は従業員に対する長期貸付金 | 23,308 | 13,725 |
| 関係会社長期貸付金 | 361,871 | 298,885 |
| 長期前払費用 | 1,688 | 1,235 |
| その他 | 36,049 | 38,175 |
| 貸倒引当金 | △480 | △475 |
| 投資その他の資産合計 | 647,262 | 569,520 |
| 固定資産合計 | 1,846,789 | 1,870,926 |
| 資産合計 | 4,044,427 | 3,878,551 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 568,185 | 536,144 |
| 短期借入金 | 1,300,000 | 980,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 136,303 | 172,425 |
| リース債務 | 2,143 | 3,148 |
| 未払金 | 57,726 | 77,350 |
| 未払費用 | 72,639 | 91,598 |
| 未払法人税等 | 7,280 | 7,231 |
| 未払消費税等 | 13,019 | 14,343 |
| 預り金 | 2,419 | 2,773 |
| 賞与引当金 | 17,614 | 16,700 |
| その他 | 31 | 300 |
| 流動負債合計 | 2,177,363 | 1,902,016 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 357,735 | 435,291 |
| リース債務 | 2,647 | 8,786 |
| 繰延税金負債 | 682 | 771 |
| 退職給付引当金 | 165,160 | 178,152 |
| 役員退職慰労引当金 | 45,872 | 50,824 |
| 固定負債合計 | 572,097 | 673,825 |
| 負債合計 | 2,749,461 | 2,575,842 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成23年3月31日) | 当事業年度 (平成24年3月31日) |
|--------------|-----------------------|-----------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 714,150 | 714,150 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 381,030 | 381,030 |
| その他資本剰余金 | 173,511 | 173,511 |
| 資本剰余金合計 | 554,541 | 554,541 |
| 利益剰余金 | | |
| その他利益剰余金 | | |
| 繰越利益剰余金 | 28,841 | 36,321 |
| 利益剰余金合計 | 28,841 | 36,321 |
| 自己株式 | △3,573 | △3,573 |
| 株主資本合計 | 1,293,959 | 1,301,439 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,006 | 1,269 |
| 評価・換算差額等合計 | 1,006 | 1,269 |
| 純資産合計 | 1,294,965 | 1,302,708 |
| 負債純資産合計 | 4,044,427 | 3,878,551 |

(2) 損益計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | 当事業年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | | |
| 製品売上高 | 3,771,339 | 3,927,228 |
| 商品売上高 | 426,283 | 436,948 |
| 売上高合計 | 4,197,623 | 4,364,177 |
| 売上原価 | | |
| 製品売上原価 | | |
| 製品期首たな卸高 | 58,216 | 59,838 |
| 当期製品製造原価 | 3,062,822 | 3,176,853 |
| 合計 | 3,121,038 | 3,236,691 |
| 製品他勘定振替高 | 7,681 | 8,754 |
| 製品期末たな卸高 | 59,838 | 40,743 |
| 製品売上原価 | 3,053,519 | 3,187,193 |
| 商品売上原価 | | |
| 商品期首たな卸高 | 11,621 | 11,579 |
| 当期商品仕入高 | 303,672 | 305,352 |
| 合計 | 315,294 | 316,931 |
| 商品他勘定振替高 | 6,202 | 5,064 |
| 商品期末たな卸高 | 11,579 | 11,667 |
| 商品売上原価 | 297,512 | 300,200 |
| 売上原価合計 | 3,351,032 | 3,487,394 |
| 売上総利益 | 846,590 | 876,783 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 販売手数料 | 10,897 | 10,725 |
| 荷造運送費 | 192,928 | 201,446 |
| 役員報酬 | 18,303 | 25,624 |
| 給料及び手当 | 227,864 | 222,789 |
| 賞与 | 27,881 | 34,084 |
| 賞与引当金繰入額 | 7,730 | 6,968 |
| 退職給付引当金繰入額 | 12,509 | 9,200 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 2,603 | 6,249 |
| 法定福利費 | 40,539 | 40,823 |
| 旅費及び交通費 | 21,968 | 22,564 |
| 支払手数料 | 14,636 | 11,612 |
| 賃借料 | 10,180 | 10,857 |
| 試験研究費 | 18,986 | 22,086 |
| 減価償却費 | 21,764 | 23,317 |
| その他 | 187,293 | 183,192 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 816,090 | 831,543 |
| 営業利益 | 30,500 | 45,239 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | 当事業年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 10,421 | 7,616 |
| 受取配当金 | 1,214 | 961 |
| 保険返戻金 | 3,200 | 166 |
| 雑収入 | 3,560 | 2,072 |
| 営業外収益合計 | 18,396 | 10,816 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 27,014 | 25,818 |
| 雑損失 | 91 | 73 |
| 営業外費用合計 | 27,106 | 25,892 |
| 経常利益 | 21,790 | 30,163 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 44 |
| 投資有価証券売却益 | — | 4,310 |
| 貸倒引当金戻入額 | 15 | — |
| その他 | — | 62 |
| 特別利益合計 | 15 | 4,416 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 186 | 188 |
| 固定資産除却損 | 374 | 904 |
| 減損損失 | 3,892 | 7,134 |
| 特別損失合計 | 4,453 | 8,226 |
| 税引前当期純利益 | 17,352 | 26,353 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 4,976 | 5,034 |
| 法人税等調整額 | — | 1,318 |
| 法人税等合計 | 4,976 | 6,353 |
| 当期純利益 | 12,375 | 20,000 |

(3) 株主資本等変動計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | 当事業年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) |
|----------|--|--|
| 株主資本 | | |
| 資本金 | | |
| 当期首残高 | 714,150 | 714,150 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | — | — |
| 当期末残高 | 714,150 | 714,150 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | | |
| 当期首残高 | 381,030 | 381,030 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | — | — |
| 当期末残高 | 381,030 | 381,030 |
| その他資本剰余金 | | |
| 当期首残高 | 173,511 | 173,511 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | — | — |
| 当期末残高 | 173,511 | 173,511 |
| 資本剰余金合計 | | |
| 当期首残高 | 554,541 | 554,541 |
| 当期変動額 | | |
| 当期変動額合計 | — | — |
| 当期末残高 | 554,541 | 554,541 |
| 利益剰余金 | | |
| その他利益剰余金 | | |
| 繰越利益剰余金 | | |
| 当期首残高 | 28,988 | 28,841 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | △12,523 | △12,520 |
| 当期純利益 | 12,375 | 20,000 |
| 当期変動額合計 | △147 | 7,480 |
| 当期末残高 | 28,841 | 36,321 |
| 利益剰余金合計 | | |
| 当期首残高 | 28,988 | 28,841 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | △12,523 | △12,520 |
| 当期純利益 | 12,375 | 20,000 |
| 当期変動額合計 | △147 | 7,480 |
| 当期末残高 | 28,841 | 36,321 |
| 自己株式 | | |
| 当期首残高 | △3,163 | △3,573 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | 当事業年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) |
|---------------------|--|--|
| 当期変動額 | | |
| 自己株式の取得 | △409 | — |
| 当期変動額合計 | △409 | — |
| 当期末残高 | △3,573 | △3,573 |
| 株主資本合計 | | |
| 当期首残高 | 1,294,516 | 1,293,959 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | △12,523 | △12,520 |
| 当期純利益 | 12,375 | 20,000 |
| 自己株式の取得 | △409 | — |
| 当期変動額合計 | △556 | 7,480 |
| 当期末残高 | 1,293,959 | 1,301,439 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | | |
| 当期首残高 | 5,722 | 1,006 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | △4,715 | 262 |
| 当期変動額合計 | △4,715 | 262 |
| 当期末残高 | 1,006 | 1,269 |
| 評価・換算差額等合計 | | |
| 当期首残高 | 5,722 | 1,006 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | △4,715 | 262 |
| 当期変動額合計 | △4,715 | 262 |
| 当期末残高 | 1,006 | 1,269 |
| 純資産合計 | | |
| 当期首残高 | 1,300,238 | 1,294,965 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | △12,523 | △12,520 |
| 当期純利益 | 12,375 | 20,000 |
| 自己株式の取得 | △409 | — |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | △4,715 | 262 |
| 当期変動額合計 | △5,272 | 7,742 |
| 当期末残高 | 1,294,965 | 1,302,708 |

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

6. その他

(1) 役員の変動

① 代表取締役の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動

該当事項はありません。

(2) その他

該当事項はありません。